

連続シンポジウム

日本の未来の高度実践看護について 意見を共有しよう

～だれのための、なんのためのAPNなのか～

DAY 1 2.16 (日) 13:00-16:00
Zoom (ウェビナー) 開催

概要

現在日本にはAPN(Advanced practice nurse)制度はありません。将来的にAPNを育成、配置、活用するプロセスでは多様なステークホルダーが関わるため、APNとその制度構築には丁寧な合意形成が求められます。

APN制度とは何を指すのか、だれのための、なんのためのAPNであり、APN制度だと認識しているのか、議論の前提の共通点と相違点の共有が必要です。

今回のシンポジウムでは、ステークホルダーの方々がどのように社会課題を認識し、どのように解決に向かおうとしているのか、その解決のためにAPNはどのように位置づけられるのかについて、忌憚ない意見を共有し、社会としての合意形成に向けた継続的な議論につなげていきます。

次回

「APN制度を推進するための看護系学会のネットワークづくり」を目的に、社員学会のAPN制度推進に貢献する活動紹介、および実績、情報共有の場づくりについての考えを共有し実現に向けて話し合います。

DAY 2 3.16 (日)
13:00-16:00

Zoom (ウェビナー) 開催



シンポジスト

山口 育子氏 ささえあい医療人権センターCOML (コムル)
市民が求める高度実践看護とはなにか

市原 真穂氏 日本専門看護師協議会
実践者からみた社会課題とAPNの未来
①専門看護師

小野 美喜氏 日本NP教育大学院協議会
実践者/教育者からみた社会課題とAPNの未来
②診療看護師

阿部田 聡氏 真壁医師会
実践者からみた社会課題とAPNの未来
③プライマリケア領域開業医師

掛地 吉弘氏 日本外科学会
実践者からみた社会課題とAPNの未来
④急性期病院外科医師

繁野 房世氏 奈良県福祉医療部 医療政策局
地域医療連携課 医師・看護師確保対策室
地域医療を支える立場からみた社会課題と
APNの未来

初村 恵氏 厚生労働省 看護課看護サービス推進室長
看護行政からみた社会課題とAPNの未来

山本 則子氏 日本看護協会
看護が認識している社会課題とAPNの未来①

萱間 真美氏 日本看護系大学協議会
看護が認識している社会課題とAPNの未来②

右記のQRコードよりお申し込みください

参加費無料 定員500名

(お申し込み受付は先着順とし、定員に達し次第、締め切らせていただきます)

